

【 事業所名 】 児童発達支援センターG I F T

【対象サービス】 児童発達支援・放課後等デイサービス

ガイドラインに基づく事業所評価の集計結果表

チェック項目	評価点数 (高→低)					改善目標・工夫している点など
	5点	4点	3点	2点	1点	
1 療育内容の改善に職員全体が参画できているか	6	8	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 各クラス会議や委員会での意見を療育内容に反映させているため。 LINE Worksで情報を共有したり、声かけなどで話し合うことで、皆の意見をらえた次の支援を考へることができている。 声かけの情報は共有やクラスでの計画を上手に行っている 参画ではなく参加になっている職員もいるので、発言しやすい雰囲気作りや、意見を引き出すことができるよう声掛けを心がける 活動の目的を定め、反省点は次の活動に活かして改善を促すことを実施している。 活動内容はLINEワークスで共有、気づきや連絡事項についても反省会などで意見をあげて共通理解をすることを工夫している。 職員それぞれが、意見を出し合う事が出来ていると思います。相談もしやすいです。 反省会を行い、相談点を話し合い対応方法や環境設定など改善方法を話し合いにつなげている 声かけなどで児童に対して有効だった支援などを共有できたり、次ポイントにつく際に統一した支援（強化子、トークン、環境設定）になるように工夫している。 お互いの仕事量、内容を確認し補いあえる部分は声掛けが行われ業務内に終了できるよう工夫している。全職員同じ気持ち方向を向けるよう声掛けを行っている。 月に一回の支援内容会議を通して、改善点などを話し合う機会が設けられている。 それぞれの長所が発揮できれば良いと思う。 ・視覚支援作成
2 保護者様の意向等を把握し子どもの状況や課題について保護者様と共通理解を持ちながら、支援内容の改善に努めているか	3	14	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意向が家庭内での対応可能なケースについては支援内容に入れられないものもありますが、できる限り活動内容に入れ、その状況を保護者はお伝えするようにしています。 LINEなどの連絡ツールがある保護者の方とやりとりができるが、送迎で合わない限り情報共有や共通理解はなかなか難しい。 個別支援計画書など、実際の子どもの様子を照らし合わせながらトイの誘導方法や個別課題（机上課題）の内容を選んでいく 情報収集、ニーズの把握に努めている。 個別支援計画書をはじめ、担当者会議やモニタリングがあがってきた話題について、着目しながら支援するようにしている。 モニタリングや日々の電話連絡時の機会でも情報共有やLINEワークスや報告で共有している 保護者のニーズや会議などに出た意見は共有されている。（口頭連絡と書面で確認） 公式LINEや電話、対面での会話などケースバイケースで情報共有を心がけている。 ご家庭の様子を随時的に聴取しながら、保護者のニーズをもとに、目標などを立てて実行している。 LINEを活用していけたら良いと思う ・スケジュール管理
3 アセスメントから子どもと保護者様のニーズや課題を分析した上で個別支援計画を作成し、定期的にモニタリングをしながら計画見直しが行われているか	8	6	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ全員が集まって会議することが困難なことがあるので、ワークスのコメントやグループでの意見を反映し、より情報を得たい場合にはそのグループのリーダーやポイントにつく先生に聞き取りをし、実現可能な取り組みを入れるように工夫しています。 1人の視点ではなく対象児童に関わる職員の様子を聞きながら計画を立てることができている。 モニタリングで子どもの事業所内での状況を伝達し、計画などの見直しを実施している 保護者のニーズや会議などに出た意見は共有されている。（口頭連絡と書面で確認） 職員会議で、すべて子どもたちの事を考える事が出来ていると思います。 個別支援計画、モニタリングはLINEワークスで共有して更新前に職員からのコメント入力も行っている 定期的に行われているモニタリングで保護者が感じてもらえる子どもの成長や新たな課題が共有される事で、現状の子どもにあった計画見直しが行われていると感じる。 保護者からニーズや課題点など聞き取りを行った際に即時共有し、タイムリーに動く体制をとっている。 全職員での共通認識の向上が必要
4 支援提供の前後には職員間でミーティングをし、その日行われる支援内容・役割分担の確認や支援の振り返り等を行っているか	10	6	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 報告だけでなく多くの人がオンラインで繋がってから全体への共有事項を伝えるようにしています。 声かけ、声かけの内容の記録をし、全体LINE Worksに共有して不在者にも閲覧できるようにしている。 各クラスで行っていること 全体の振り返りだけでなく、個人間でも声かけを行い、支援提供前に個別の準備物の共有などを行っている 限られた時間であるので、声かけ以外にWorksに共有、当日共有を努めたい。 担当クラスの職員同士で、活動内容について気づきを伝え合ったり、全体においても声かけの時間に話題にしながら振り返りを行っている。 報告で確認し声かけの課題や改善点について必要な時は話し合いをしている クラス毎に活動の話し合いや全体のスケジュール確認を行う事でスムーズな業務に取り組める。 さいなこともミーティングにて検討を行なっている 報告や報告を通して、その日の流れや役割などについて、確認している。 時間を作る必要がある ・終了時に行っている
5 日々の支援に関して正しく記録をとり、支援の検証・改善につなげているか	8	8	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 関わるスタッフによって、ばらつきがあるため、この点は統一した方法が伝達できるよう、より職員間のコミュニケーションを促していきたいと考えます。 記録については詳しい支援内容やその支援を行なったことでどうなったか、日常のどのような時にいされるのか、保護者に伝わりやすいような記録だとよい良いと思う。 自分だけで考えるのではなく、先生方の意見も聞いたり改善につなげている 反省を共有、他者の意見も取り入れ反省を活かした次の支援時に実行している。 記録は主観が入らないように注意する。疑いがあった場合はどのように支援したらうまくいったのか、を保護者様にわかるように記入するように心がけている。 細かい情報も報告、連絡、相談が出来ていると思います。 ポイントについてお子さんの課題となる点、問題行動をインフォに上げ情報共有し次につなげている 情報共有に努めている。話を聞いた職員が報告、Worksなどで共有を実施している その日の様子を簡単に伝えるようにしている。特に園や学校で児の様子で話題になっていることがあれば、その点についてより気づきを伝えたい。申し送りをするようにしている。 モニタリングや電話連絡、送迎時に伝えている 学校・園での様子を共有し、連携した支援ができると尚良い。 限られた時間でポイントを伝える 担当者が多忙過ぎる
6 学校や園、その他関連機関との情報共有(就学支援等を含む)や連絡調整を適宜行っているか※学校・園への送迎時の対応も含む	9	8	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 細かいことでも気づきは共有するように工夫しています。 学校や園の先生方の時間に配慮し、要点をまとめて情報共有を行えるようにしている。 自分だけの考えで送迎をせずに、一旦持ち帰らせていただき、きちんとした法人としての送迎を返すようにしている 情報共有に努めている。話を聞いた職員が報告、Worksなどで共有を実施している その日の様子を簡単に伝えるようにしている。特に園や学校で児の様子で話題になっていることがあれば、その点についてより気づきを伝えたい。申し送りをするようにしている。 モニタリングや電話連絡、送迎時に伝えている 学校・園での様子を共有し、連携した支援ができると尚良い。 限られた時間でポイントを伝える 担当者が多忙過ぎる
7 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対する助言等を行っているか	3	13	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 必要時は資格支援ツールなどを保護者に提供したり、ラインを活用して、情報提供をしています。 口頭での説明だけでなく、わかりやすい資料や本などのコピーをお渡しして読み方や解決方法を共有できるようにしている。 提供記録に、その日子どものことで保護者からも求めたいポイントや具体的な記入している 保護者様からの質問に対して迅速に対応している 児童発達支援保護者さまと直接お話しすることがないで、提供記録内でお伝えできることは伝えるようにしている。放課後デイについてはその日の活動で、気になる点についてどう支援したかを伝える。保護者さまから相談があったことについては、その場で答えが難しい場合は、一旦持ち帰り、職員同士で検討することもある。 モニタリングや電話連絡、送迎時に伝えている ご家庭での最近の様子申し送り時に聞き、GIFTでの様子と照らし合わせて伝えられる。 保護者様のタイプも考慮し分かりやすく伝える ・個別に対応している
8 保護者様からの苦情について、対応の体制を整備すると共に保護者様に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	6	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 再発しないよう、共有し、視覚化するようになっています。 苦情を受けたことがないが、そうなった場合は職員間で速やかに共有し窓口となる職員と対応方法を考えたい。 情報共有に努めている 職員間で必要な情報を収集したり、確認したりして迅速に対応できるようにしている。 全体の情報共有が早く、どうすれば良かったかを考えられる事も出ています 日々の情報共有している中での苦情もなく、苦情になる前に保護者さまの意向を伺っていると思われる 保護者に周知する ・苦情の内容の周知化
9 ヒヤリハットや事故報告書を作成・共有し、事業所内での再発予防に心がけているか	14	4	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> その日に必ず作成して、情報を正しく狭すようにし、再発防止のために詳細を情報共有するようにしています。 反省だけでなく、改良点を必ず共有して、全体に意識づけられている 報告の場になせそうだったか、気づいたかを共有している 口頭連絡に努めている 自事業所だけでなく、グループ内の事業所間で、確認しながら、再発防止への意識を高めることができている。 毎日の報告で前日あった事を共有している 報告時に周知できたり、全体で再発防止の意識が持てる。 状況を職員全体に周知する時間の短縮化を図る
10 職員の資質向上のための法人内での研修会が定期的に行われているか	14	4	0	0	0	
11 災害発生時に備えた訓練や身体拘束・虐待防止の研修等を定期的(年1回程度)に行っているか	16	1	1	0	0	